1、輸送の安全に関する目標及び当該目標の達成状況

- ① 死亡事故及び重大事故（転覆・転落ほか）の発生は無く、目標は達成した。
- ② 加害事故については、人身事故が1件発生した。
一方、物損事故は10件発生した。
事故惹起者に対しては、当社規程による安全再教育と添乗指導員による添乗指導を行った。
また下期から事故惹起者に対し外部講習による指導を実施した。（2回）
- ③ 法定速度違反（社内規定：高速道路は90 km/h以下、一般道は法定速度）は18件発生し、
目標未達となった。
速度違反は高速道路走行中に多発した。なお、管理者は当該乗務員と速度違反時の映像を確認し、注意指導を行ったほか、運行適性化管理表に違反の状況と指導の内容を記録した。
- ④ 労働災害は1件（休業1件 不休業0件）発生し、目標未達となった。
労働災害の内容は、高圧洗車機に歩いて向かう途上で路面凍結により足が滑り被災したものである。洗車時の停車場所変更や冬季の路面凍結に対し注意喚起を行った。

2、自動車事故報告規則第2条に規定する事故

2024年度の事故は0件だった。なお、2023年度の事故は0件だった。
2025年度も0件を継続したい。

3、輸送の安全を確保するために講じた重点施策

- ① 輸送の安全のための措置及び実施した教育・研修等
 - 1) 外部講師による安全指導員育成講習（全6回、子会社含み受講者14名）を実施した。
 - 2) 事故惹起者に対し実車を使用した教習所による原点回帰講習（11月）を実施した。（1名）
 - 3) 添乗指導者育成研修を受講した添乗指導員による添乗指導（受講者3名）を実施した。
- ② 輸送の安全に係る情報伝達体制等
 - 1) 4月に緊急連絡体制図を更新し、全事業所に掲示した。
 - 2) 交通事故、品質事故、車両故障及び冷凍機故障の状況を週報として事業所長に送付し、事故・故障の内容及び注意事項を共有化することにより、事故や故障の防止と削減を図った。
 - 3) 乗務員への注意啓蒙手段としてデジタルサイネージを活用し交通事故・品質事故・労働災害に対し防止と削減を図った。
- ③ 輸送の安全に係る内部監査等の実施
 - 1) 定期的な安全内部監査（3事業所、設備関係を含む）を実施した。
なお、併せて安全指導員の現場巡回を実施し危険作業や危険場所の確認を行った。

以 上

	2024年目標件数	2024年発生件数	2025年目標件数
死亡事故(人身・労災)	0件	0件	0件
加害交通事故	0件	11件	0件
転覆・転落・火災・鉄道衝突	0件	0件	0件
アルコール検知違反	0件	0件	0件
薬物・過労起因事故	0件	0件	0件
法定速度違反(社内規程)	0件	18件	0件
労働災害(休業・不休業)	0件	1件(休業)	0件

	2024年目標件数	2024年発生件数	2025年目標件数
死亡事故(人身・労災)	0件	0件	0件
加害交通事故	0件	11件	0件
転覆・転落・火災・鉄道衝突	0件	0件	0件
アルコール検知違反	0件	0件	0件
薬物・過労起因事故	0件	0件	0件
法定速度違反(社内規程)	0件	18件	0件
労働災害(休業・不休業)	0件	1件(休業)	0件